



さとやま

8月に見られるいきもの



毎年8月14日、万灯山では「貝吹のかぎ万燈」が行われます。左は行われる前、右は後の写真です。山頂付近が草刈され、焼かれた跡がみられます。このため山頂付近には、独自の生態系が見られます。この2年間は、悪天候や新型コロナウイルスの影響で行われていません。今年はどうなるでしょう。

そんな万灯山山頂付近では、ご飯粒をつけたような**ママコナ**の花や、絶滅危惧種の**オケラ**の花芽が見られます。**オトギリソウ**の花は、万灯山より里山エリアの方が見つけやすいようです。これらの植物は、かぎ万燈の準備で刈られたり、焼かれたりしてほとんどが姿を消します。

長円寺では、先月ご紹介したヒメヤブランの葉や花穂を長くしたような、**ヤブラン**の花が咲きます。

里の広い範囲で芳香を漂わせる**クサギ**の花は、独特の姿をしています。センターからトンボの里の水辺では、草丈が1メートルほどになるカヤツリグサ、**カンエンガヤツリ**が見られます。また、目を上にやると、**センニンソウ**の花が雪のように咲いているのを見つけることができます。

里山エリアの湧き水が流れ込む小川には、絶滅危惧種の水生昆虫、**ヒメタイコウチ**が棲んでいます。

こんな生き物たちを探して、里を散策してみましょ。熱中症対策は十分をお願いします。



ママコナ

オケラ

オトギリソウ

ヤブラン

クサギ

カンエンガヤツリ

センニンソウ

ヒメタイコウチ

里の生き物紹介

カラスウリとスズメウリ

8月、朝早く里を訪れると、下の写真のようにレースを広げたような花に出会うことがあります。これはカラスウリの花です。



雌花のつぼみ



雄花のつぼみ

カラスウリはウリ科のつる性多年草です。雌雄異株で、雌花をつける株と雄花をつける株があります。花は日没後に開き、翌朝にはしぼんでしまいます。深夜にはもっと美しくレースが広がっています。写真の花は雌花で、中央に3つに分かれた雌しべが見えます。雄花の雄しべは分かれておらず、ごつごつしています。つぼみを見ると、雌花は茎に1つだけつき、根元が膨らんでいます。雄花はいくつか集まっていて、これが順番に1つずつ咲いていきます。

花が終わると、雄花は落ちてしまい、雌花は根元の膨らんだ部分が大きくなっていきます。

若い果実は緑色で、薄い黄緑の縦縞模様があります。秋が深まると鮮やかな朱色に色付きます。冬、落葉した木に実っているとよく目立ち、遠くからでもわかります。多年草なので毎年同じ場所で見られます。



夏



秋



冬、落葉したカワラハンノキ

ところで、カラスウリ（烏瓜）の名の由来ですが、カラスが食べるからだという説がありますが、実際には苦みがあり、実際に食べることはあまりないようです。

数年前の秋、里に作られた藁を積み上げた「スズミ」の中に、写真のような状態のカラスウリを見つけました。子どものいたずらということも考えられますが、カラスの仕業ではないかと思われる。非常によく目立つ実に興味を示し、こんなことをしたのはないでしょうか。





カラスウリの種子は、果実の中で果肉に包まれています。果肉を取り除くと、同じウリ科のスイカやカボチャの種子とは違い翼がついていて、カマキリの頭のような形をしています。この形を「大黒様の頭」や、「打出の小槌」に見立て、「金運のお守り」としてお財布に入れられることがあります。

8月下旬～9月、里の湿った場所では、こんなかわいい白い花を見かけます



これもウリ科のつる性植物、スズメウリです。1年草なので、毎年同じ場所で見られるとは限りません。また雌雄同株で、同じ株に雌花と雄花がつきます。雌花は花のすぐ下が膨らんでいます。

若い果実は緑色ですが、秋が深まると灰白色に変わります。カラスウリに対し小さいのでスズメと名がついたようです。たくさん実ると玉すだれのようになります。ちなみに実には甘味があるそうです。



里では、2019年に上の写真のように、最近流行っているオキナフスズメウリが栽培されました。花は黄色で、スズメウリを一回り大きくしたくらいの実がなります。本当は一番右のように赤く色づくのですが、里では緑色のまま腐ってしまいました。花の時期が遅いと色付かないようです。実には毒性があるそうです。

7月の行事紹介

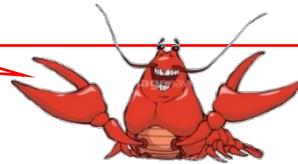


講座「梅雨時のきのこを探そう」を石川まゆみさんを講師に迎え7月25日(日)に開催しました。今年の梅雨は17日頃に明けてしまい、例年になくきのこの発見が難しく感じられました。講師から生えていそうな場所を教えてもらい、園内を注意深く探していたら、13種類のきのこを採取することができました。採取したきのこを並べて名前合わせや胞子を顕微鏡で観察するなど、とても楽しい一日となりました。

8月の行事予定

1日(日)	水辺のいきものを探そう	30名	AM9:30~11:30	神本 晃
8日(日)	夏休み昆虫教室	30名	AM9:30~11:30	山口 信夫

8月は、「ザリガニ釣り」を開催するよ。午前9時から午後4時まで釣り放題です。それも「手ぶら」でサオやエサも無く気軽に釣りができます。お持ち帰りはできませんが1回/30円で何匹でもOKです。



9月の行事予定

5日(日)	“鳴く虫の不思議”セミ笛を作ろう	20名	AM9:30~11:30	磯貝はるみ
19日(日)	秋の里山で野鳥を観察しよう	20名	AM9:30~11:30	高田 俊洋
26日(日)	里山のいきものを描きましょう	20名	AM9:30~11:30	市川百合子

- ◆参加受付は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順で来園、または電話にて受付します。また、お申込みは本人、もしくはそのご家族までとします。
- ◆参加申込者は傷害保険に加入のため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学扱い」とし、傷害保険の加入はありません。
- ◆天候や少数(6名以下/1講座)、コロナ禍などにより「講座の中止・延期」、または「受講内容の変更」する場合があります。
- ◆原則、参加費は無料ですが材料費などは実費を申し受けます。
- ◆詳細な講座の内容などは、直接ネイチャーセンターにご確認ください。

西尾いきものふれあいの里

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始[12/28~1/4] ◆発行 西尾市環境部 環境保全課